

日本の「食」を支える北海道の農業

J Aグループ北海道



北海道は全国の約4分の1の耕地面積を有する一大農業地帯です。稲作、畑作・青果、酪農・畜産など、広大な大地を活用した農業が行われています。

一つの農業経営体あたりの面積は、都府県の約13倍に当たる29ha（札幌ドーム約5個分）。大規模で専門的な経営をしています。

北海道の食料自給率は約200%（全国平均38%）で、日本の食料の安定供給に重要な役割を果たしています。また、こうした農業や農村は食品加工や観光など他の産業とも広く結びつき、地域経済の活性化に大きく貢献しています。

広い北海道は気候や土壌の違いから、各地域において、多様性と特色のある農業が行われています。

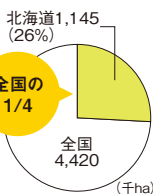
この北海道農業を、協同組合のチカラでサポートし、もって、安全・安心な農畜産物を、安定して道民・国民の皆さんにお届けすることが、JAグループ北海道の使命です。



■全国に占める北海道の地位

(億円)

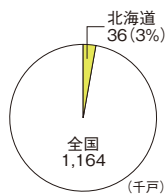
■耕地面積



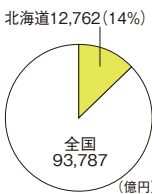
	北海道A	全国A	A/B
田耕地	222	2,405	9.2%
畑耕地	923	2,014	45.8%
内牧草地	502	599	84.0%

資料：農林水産省 (H30)「作物統計調査」

■販売農家戸数



■農業産出額

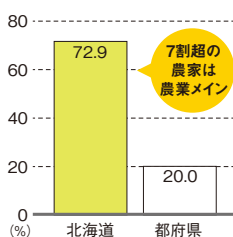


区分	北海道	構成比	全国	順位
農業産出額	12,762	100%	93,787	1
米	1,279	10%	17,456	2
麦類	252	2%	438	1
豆類	347	3%	708	1
いも類	747	6%	2,195	1
野菜	2,114	17%	24,508	1
肉用牛	1,002	8%	7,228	2
乳用牛	4,919	39%	9,268	1

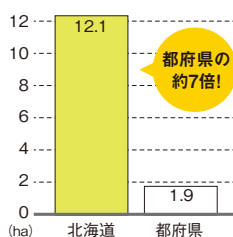
資料：農林水産省 (H29)「生産農業所得統計」

■北海道農業の主要指標

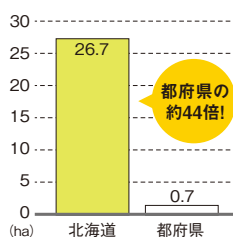
主業農家率



一戸当たり水田面積

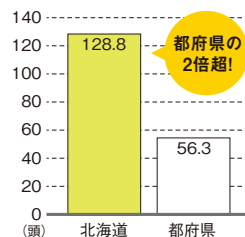


一戸当たり畑地面積



資料：農林水産省 (H30)「農業構造動態調査」

一戸当たり乳牛頭数



資料：農林水産省 (H30)「畜産統計調査」

JAって何？

JAとは「農業協同組合」の愛称で、株式会社とも行政など公的機関とも異なる「協同組合」という組織です。協同組合は「参加するメンバー（組合員）が助け合い、力を合わせて事業や活動を通し組合員の願いや課題を解決する仕組み」です。JAが大切にしていることは「農業の生産力を高めること」「農業所得を向上させること」「地域の農業を発展させること」。農業のことはもちろん、農業景観や食の安全についても大切に考えています。



J Japan (日本)
A Agricultural (農業の)
Co-operatives (協同組合)

マークは「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージさせ、三角形は「自然」、「A」の部分は「人間」を表しています。「J」の左端の円は「農業の豊かさ」「実り」「人の輪」を象徴しています。

JAグループ北海道に関する情報はここから確認できます。

<http://ja-dosanko.jp/>

